



2025年12月18日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目8番8号

株 式 会 社 山 王

代 表 取 締 役 社 長 荒 卷 拓 也

(コード番号: 3441)

問い合わせ先 取 締 役 舟 橋 良 和

電 話 番 号 045(542)8241

国立大学法人福島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同研究契約締結のお知らせ

この度当社は、国立大学法人福島大学（以下福島大学）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下産総研）との間で内閣府 地方大学・地域産業創生交付金事業（福島県「バイオマス由来水素・炭化物製造システムの開発」）（以下本事業）に係る共同研究契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 共同研究契約の経緯と概要

当社は1982年に福島県郡山市に進出以来、40年以上に渡り生産主力拠点として福島県で操業を続けてまいりました。また、保有する貴金属めっき技術を応用した水素透過膜の開発、事業化に取り組んでおります。

福島県は「福島新エネ社会構想」という国家プロジェクトのもと、水素社会の実現を目指し、福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)を始め、水素に関する実証や研究開発を推進しております。

産総研は福島県郡山市内に福島再生可能エネルギー研究所を有しており、水素を含む再生可能エネルギー研究を進めております。当社も産総研と共に水素透過膜開発で「福島県再生可能エネルギー等事業化実証研究支援事業」の採択を受ける(2021~2023年度)など、福島県の支援のもと水素透過膜開発を進めてまいりました。

福島大学では2024年4月に共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所が開設され、福島県の重点課題の一つである水素・再生可能エネルギーに関する教育研究を推進しています。

本共同研究では、全体事業計画であるバイオマス由来水素・炭化物製造システムの開発、水素及び付加価値の高い炭化物の安定供給モデルの確立に向け、本事業の研究統括を担う福島大学、共同研究機関である産総研とともに、電解成膜パラジウム系水素透過膜を用いた混合ガスからの水素精製の原理実証をテーマに研究を進めます。

2. 共同研究の相手先の概要

| | |
|-----------|----------------------|
| (1) 名称 | 国立大学法人福島大学（学長 三浦 浩喜） |
| (2) 所在地 | 福島県福島市金谷川1番地 |
| (3) 研究代表者 | 浅田 隆志（共生システム理工学類・教授） |

| | |
|-----------|---|
| (1) 名称 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所（理事長 石村 和彦） |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号（本部） 福島県郡山市待池台二丁目2番9号（福島再生可能エネルギー研究所） |
| (3) 研究代表者 | 遠藤 成輝（再生可能エネルギー研究センター） |

3. 今後の見通し

本件による 2026 年 7 月期の業績への影響はありません。

以上